

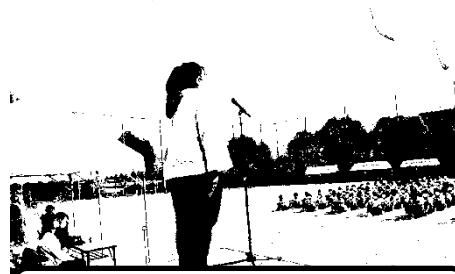


特別活動における小中一貫教育の実践

～「つなぐ」を意識した体育大会の取組～

10月19日(水)の尾倉中学校体育大会予行練習では、皿倉小学校の4年生・6年生の児童が見学に来たことは、本通信「第241号」でお知らせしたところです。

22日(土)の本番では、皿倉小学校森永校長先生に来校していただき、開会式で全校生徒にエールを送っていただきました。ありがとうございました。特に、1年生にとっては、昨年森永校長先生と1年間過ごしたと思いますので、気合いが入ったことでしょう。森永校長先生も、1年生の成長に驚いていました。



開会式で挨拶をする森永校長先生

尾倉中学校でのみなさんの頑張りは後輩にも届いているはずですよ。

ここで、森永校長先生から聞いた話を伝えます。予行練習の見学を終えて、学校に戻った皿倉小学校の児童のみなさんの様子がいつもとは違っていたということです。尾倉中学校の生徒のみなさんが踊っていたダンスを踊ったり、体育の時間では「僕たちも尾倉中学校のようなラジオ体操をしたい!」という声が挙がったりしたそうです。

中学生の体育大会への意気込みは確実に小学生に伝わっています。これからも、尾倉中学校の生徒として、皿倉小学校の児童のみなさんのお手本になってほしいと思います。

【体育大会の予行練習を終えて尾倉中学校の生徒の感想から(校長聞き取り)】

- 小学生が見ている中、恥ずかしい演技はできないと思った。
- 最後のお互いの挨拶が、小学生のほうが大きかったので「これは負けられない」と思いました。
- 「これが中学生」という姿を見せることができてよかった。みんな尾倉中に来てほしい。

皿倉小学校 6年2組学級通信
10月21日(金) 梶川 勇加

尾倉中学校へ

19日の朝から、尾倉中学校の先生方からご招待いただき、体育大会の予行練習の見学に行ってきました。

部活動紹介の行進から始まり、各学年選抜選手による競走遊戯やリレーが行われました。競技は短縮しているものもありましたが、入退場の様子や開会式の話を聞く先輩たちの姿は、とても立派でした。礼儀正しい態度やメリハリのある行動、大きな声での挨拶を目の当たりにした子どもたちは、圧倒されたようでした。学校に帰ってから感想を書くと、日頃から当たり前の行動を心がけているからこそ、このようなときに力を発揮できたのだと気付くことができた子どもたちがたくさんいました。1年後、みんながこのような姿で頑張っているかも…と想像し、ウルっとしてしまったのはここだけの話です。